

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	迫 秀信	電 話	483-6328
-----	-------	-----	-----	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9929		事務事業名称	配水管布設事業						短縮コード	経常	9929	臨時	
予算区分	会計	92	水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	拡張工事費	目	01	拡張工事費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
未給水区域の解消の為、当初より行っています。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
毎年計画的に布設している。						大項目（節）	04	水道						
						中 項 目	01	水道						
						小項目（施策）	01	水道の運営基盤の向上						
						細 項 目	01	安定供給の向上						
				実施計画の計画事業	4403	給水区域の拡大事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成17年4月 ～ 平成20年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	未給水区域							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 未給水区域に配水管布設を1,200m計画し，2,126mの送・配水管を布設した。							
	※平成19年度に計画していること： 未給水区域に配水管布設を2,400m計画する。							
意図 （何を狙っているのか）	市内全域において水道による衛生環境の向上を図る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	未給水区域での配水管の整備を実施する事により，未給水区域を解消し安定給水の向上が図れる。							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	計画布設延長	m	2,456	1,200	2,126	2,400	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	未給水区域の計画布設延長	m	2,456	1,200	2,126	2,400	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	未給水区域の計画布設延長	m	2,456	1,200	2,126	2,400	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1	水道普及率	%			98.9		
	指標2							
	指標3							

コード		9929	事務事業名称	配水管布設事業			所属名	建設課
			単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円		0			
		県	千円		0			
		地方債	千円	70,000	60,000	60,000	60,000	
		一般財源	千円	257,854	75,188	98,480	147,350	
		その他	千円	8,107	44,147	2,896	46,510	
	主な事業費の内訳			拡張工事費335,961千円	拡張工事費172,541千円（繰越分1,842千円含）・委託料6,794千円	工事費156,882（繰越分1.841千円含）千円・委託料4,494千円	工事費247,066千円・委託料6,794千円	
人件費 (B)			千円	26,133.2	30,953.7	32,083.3	42,777.7	
トータルコスト (A) + (B)			千円	362,094.2	210,288.7	193,459.3	296,637.7	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	給水区域を拡大することにより，安全な水を安定供給できる地域が増え，快適な生活空間都市となる。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	計画的に布設工事を行い，未給水区域は減少している。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	水道法により，事業の実施は市が行うものと義務づけられている。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状のままで「対象」・「意図」が結びついている。					
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	すでに，設計業務の一部を民間に委託することにより事業の効率化が図られ，成果が出てきている。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1	実施主体 (所管部署)			
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T 化等業務プロセスの見直し		2	実施主体 (所管部署)			
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法						
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	9929	事務事業名称	配水管布設事業				所属名	建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			計画的に未給水区域を解消し, 安定給水の向上を図る。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			計画的に未給水区域を解消し, 安定給水の向上を図る。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
未給水区域を解消し安定給水の向上を図る。	

所属長コメント	今後も計画的に未給水区域を解消し, 安定給水の向上を図る。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	現状のまま継続とするが、 不断に有効性・効率性を検討すべき。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	